

ヘリパッド工事 住民ら再び阻止

「審査会に行けない」

【東】米軍北部訓練場の一部返還に伴う東村高江へのヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）の移設工事で、沖縄防衛局は19日、約1カ月半ぶりに工事を再開した17日に続き、工事に使用する機材の搬入を試みた。しかし、移設に反対する住民ら約30人が出入り口に座り

込み抗議したため、膠着状態が続く。防衛局側は午後3時すぎに撤収した。「ヘリパッドいらぬ住民の会」の安次領現達さん

(53)は同日、米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に向けた環境影響評価書の審査会が開かれたことに触れ「高江からも足を運びたか

ったが、この状況では現場を離れられない。この時期に工事を再開したことに、意図的なものを感じる」と憤った。